

## 令和5年度筑紫地区社会教育委員研修会開催要項 (案)

## 1, 趣 旨

「毎日同じ服しか着られない」「満足に食事を取れない」「海や山、お祭りに行ったことがない」「食事は学校給食が頼りなので、長期休みには体重が減る」「満足な医療も受けられない」。これは終戦後の日本の状態を言っているのでもなく、どこか遠い途上国の話でもなく、今、現在、日本で、あなたの側の地域で起きていることなのです。

日本の子どもの貧困率は13.5%、7人に1人の子どもが相対的貧困の状態です。(2019年国民生活基礎調査)

学習環境にも恵まれず、進学のお機会も狭められていることは、大人になっても経済的に恵まれない貧困の負の連鎖に繋がっています。

本研修会では、子どもの現状を知るため、子どもの貧困問題や居場所づくりに取り組んでいる方々から話を聞き、子どもたちが安心して「豊かな子ども期」を送れるよう、私たち社会教育委員が、1人の大人として、地域人として、何ができるのか考える機会となればと思っています。

## 2, テーマ

「子どもの現状 見えていますか？」 ～子どもの貧困を考える～

## 3, 主 催

筑紫地区社会教育委員連絡協議会

## 4, 共 催

筑紫地区社会教育振興協議会

## 5, 日 時

令和5年12月4日 午後1時30分～午後4時30分

## 6, 会 場

太宰府市役所 4F 大会議室

## 7, 参 加 対 象

筑紫地区各市社会教育委員、生涯学習・社会教育関係者

8, スケジュール及び内容 (案)

時間	内容
13:00	受付
13:30	開会行事
13:45	基調講演 大西良氏 (筑紫女学園大学 人間科学部 人間科学科 心理・社会福祉専攻 准教授・筑紫女学園大学 大学院 人間科学研究科 准教授) 「貧困の中にいる子どもたち (仮)」
14:45	休憩
14:55	リレートーク 子ども食堂：武藤氏、遠藤氏 不登校支援：藤田氏
15:25	グループワーク オブザーバー：講師 リレートーク登壇者
16:00	各グループより発表
16:25	まとめ 講評
16:30	閉会行事

※研修会后、懇親会予定

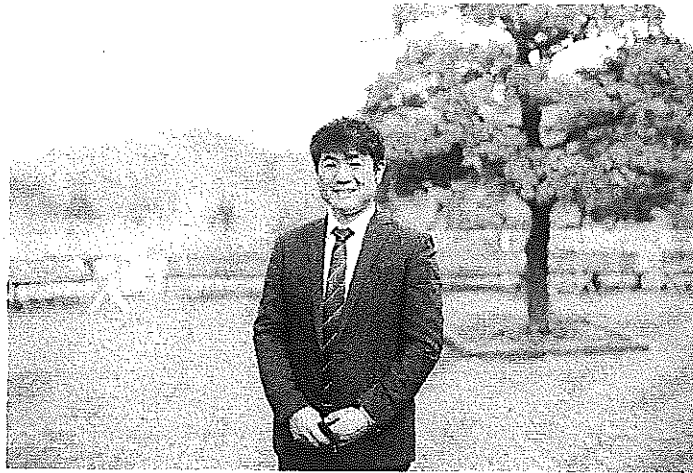
- ・リレートークの登壇者 (予定) 子ども食堂：武藤氏、遠藤氏  
不登校支援：藤田氏  
上記2団体、各15分程度
- ・グループワーク  
参加者7~8人ずつのグループに分かれ、3つの  
テーマについてグループワークを行う。  
それぞれのグループで、講師・リレートーク登壇者が  
オブザーバーとなる。  
最後に各グループから発表をする。

## 講師紹介

大西 良 さん (1978年 福岡県生まれ)

私は、「子ども・若者の福祉と心理」をテーマに実践・研究を行っています。  
最近では、子どもの睡眠と精神的健康との関連や、子ども食堂などの地域の居場所が子どもの心の安定に与える影響などに焦点を当てて、調査研究に取り組んでいます。

また、夜回り（アウトリーチ）の実践活動を通じて、居場所を求める子ども・若者の試験活動を行っています。



(2022年7月12日 日本福祉心理学会研究室紹介より)

教員名 筑紫女学園大学 人間科学部人間科学科 心理・社会福祉専攻准教授  
筑紫女学園大学大学院 人間科学研究科准教授

所属学会 日本精神保健師協会、日本ソーシャルワーク学会  
日本子ども虐待防止学会、日本福祉心理学会、日本地域福祉学会  
日本社会精神医学会、日本SST普及協会、日本健康生きがい学会  
(博士 (保健福祉学)、社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師)

研究内容のキーワード 児童虐待・ネグレクト  
子どもの貧困  
ファミリーソーシャルワーク  
スクールカウンセリング  
児童・思春期の精神保健福祉 (メンタルヘルス)  
(筑紫女学園大学ホームページより)

